

文書番号：TUA-03-446-01-02

廃棄物分別手順書

(世田谷キャンパス)

第 12 版

制定年月日 2002年 1月30日

改訂年月日 2020年 4月 1日

東京農業大学

承 認	作 成

改訂履歴

版番号	制定・改訂日	主な改訂箇所・理由
1	2002.01.30	新規制定
2	2004.01.08	「化学物質管理マニアル」制定に伴う見直し (実験系廃棄物を「化学物質管理マニアル」へ)
3	2004.04.01	事務組織変更に伴う名称変更。(庶務課から環境管理課へ)
4	2005.01.17	①排出場所の監視測定実施所管の変更 ②農大リサイクルシステム-研究室・事務用- 燃えないごみ、 古紙の区分変更
5	2007.04.01	リサイクスシステム分別手順「-農大リサイクルシステム-分 別ボックス用-」 「-農大リサイクルシステム-研究室・事務 室・農友会等団体用 1・2-」 を見直し (分別種類変更)
6	2007.10.11	チェック表の変更
7	2009.11.30	① リサイクルシステム分別手順「-農大リサイクルシステム -研究室・事務室・農友会等団体用 1-」 (処理方法 (炭 カル入り)) 削除。 ② 「-農大リサイクルシステム-研究室・事務室・農友会等 団体用 2-」 (分別方法家電 4 品目に (ブラウン管・液晶・ プラズマ式含)・(冷凍庫含)・(衣類乾燥機含)) 追加。 ③ 世田谷キャンパス内 ごみ集積所管理所管一覧表から常磐 松別館を削除。 ④ 「構内配置図 TUA-03-446-01-02-04」(常磐松別館集積所 削除)
8	2014.06.01	① 世田谷キャンパス内 ごみ集積所管理所管一覧表から農 大アカデミアセンターを追加。 ② 「構内配置図 TUA-03-446-01-02-04」(農大アカデミアセ ンター追加)
9	2015.04.01	リサイクルシステム分別手順「-農大リサイクルシステム-研 究室・事務室・農友会等団体用 1、2-」 特殊ゴミ、危険な物、 蛍光灯・電球についての処分を追加。
10	2017.04.01	学部学科改組に伴う変更 ①世田谷キャンパス内 ごみ集積所管理所管一覧表 ② 「構内配置図 TUA-03-446-01-02-04」

11	2017.05.15	リサイクルシステム分別手順「-農大リサイクルシステム-研究室・事務室・農友会等団体用2-」粗大ごみ、家電4品目の搬出方法を事前予約制に変更
12	2020.4.1	事務組織変更に伴う名称変更。(環境管理課から大学総務課へ)

1. 目的

本手順書は、東京農業大学世田谷キャンパスから発生する一般廃棄物・産業廃棄物(以下、一般ごみ)についてリサイクルを最優先とするために適切な分別排出をし、その廃棄物を学内において保管するための手順を定める。

なお、特別管理産業廃棄物(実験系廃棄物)は「化学物質管理マニュアル」に定める。

2. 用語の定義

● 分別ボックス

世田谷キャンパス内の職員及び学生(研究室等部屋以外)を対象とし、排出された一般ごみを一時的に保管する9分別の箱をいう。

● ごみ集積所

世田谷キャンパス内の各研究室(部屋)単位によって分別し、排出された一般ごみを一時的に保管する場所をいう。(構内配置図TUA-03-446-01-02-04)

● リサイクルステーション

分別ボックス・ごみ集積所に一時的に排出された一般ごみ廃棄物を最終的にまとめて保管する。

世田谷キャンパス内的一般ごみの最終保管場所をいう。(構内配置図TUA-03-446-01-02-04)

● 回收業者

世田谷キャンパス内の分別ボックス・ごみ集積所の一般ごみを回収し、リサイクルステーションへ運ぶ業者をいう。

● リサイクルトレー

世田谷キャンパス内の生活協同組合専用の弁当指定容器をいう。



分別ボックス



ごみ集積所 (ステンレス製)

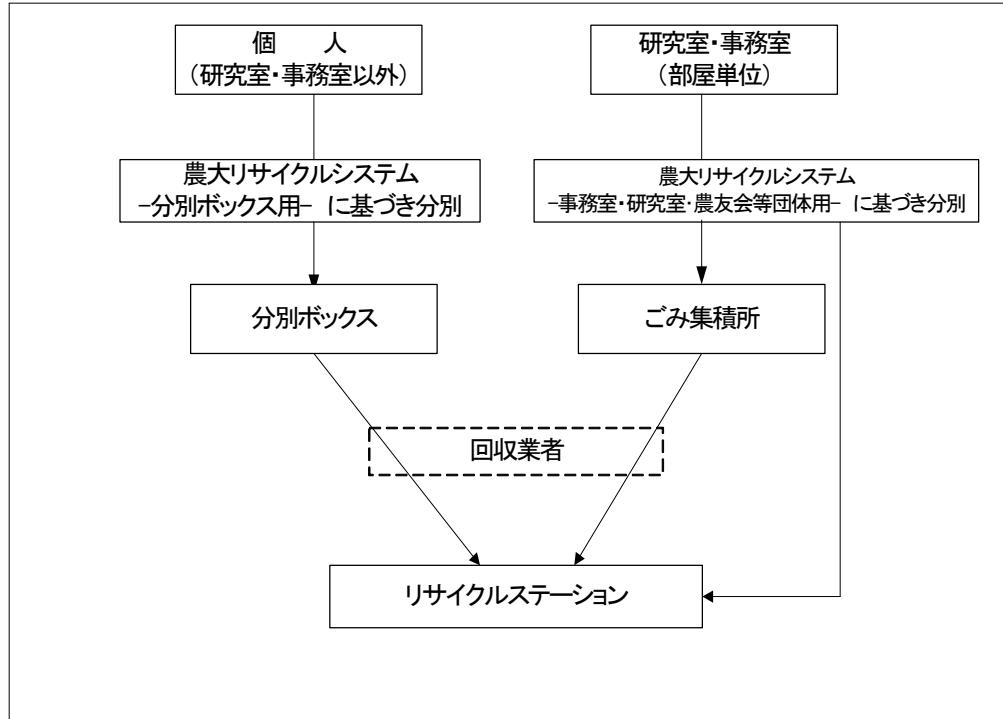


図 446-02-1 世田谷キャンパス一般ごみ処理フロー

3. 廢棄物分別

世田谷キャンパスから排出された、一般ごみの分別は以下の通りとする。

- 職員及び学生が世田谷キャンパス内(研究室等部屋単位以外)で排出する一般ごみは、分別し分別ボックスに排出する。
分別手順：「-農大リサイクルシステム-分別ボックス用-」(TUA-03-446-01-02-01)参照。
 - 研究室、事務室、農友会等団体(部屋単位)において排出する一般ごみは、分別しごみ集積所・リサイクルステーションに決まった排出方法によって排出する。
分別・排出手順：「-農大リサイクルシステム-研究室・事務室・農友会等団体用1・2-」(TUA-03-446-01-02-02, TUA-03-446-01-02-03)参照。

粗大ごみは、大学総務課で受付を済ませた翌日の指定された日時にリサイクルステーションに持ち込む。

特殊ゴミは、廃棄物処理依頼伝票を受取った以降、直接リサイクルステーションに持ち込む。

ただし、大掃除等で粗大ごみを大量に発生する場合については大学総務課に連絡する。

常磐松学生会館、合宿所から排出されたゴミは直接リサイクルステーションに持ち込む。

※ 排出に廃棄物処理伝票、受付が必要な一般ごみの受付、搬出手順

●種類：

- (1) 粗大ごみ(パソコン等 OA 機器、金属・木製家具、家電 4 品目以外の家電等)
- (2) 家電 4 品目(テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコン)
- (3) 機密書類(個人情報等の機密書類、倉庫保管期限切文章)
- (4) 特殊ゴミ(危険な物、カッター、ライター、乾電池・ボタン電池、割れた蛍光灯・電球、割れた陶器・ガラス)

(1) 粗大ごみ(パソコン等 OA 機器、金属・木製家具、家電 4 品目以外の家電等)

- ① 受付手順：事前予約制になるので、以下の手順で受付をする。
 - a) 廃棄したいものが備品になっている場合は、経理課で「備品の廃棄(除却)処分願い」を提出、決済をうける。
 - b) 廃棄したいものをリストアップし、リサイクルステーションに排出したい日の前日の午前中(11:30)までに大学総務課で<受付>を済ませ、<受付>印をもらった「廃棄物処理依頼伝票」を受け取る。
 - c) リサイクルステーションに搬出する日時の調整を行う。
- ②) 搬出手順：以下の手順で搬出をする。
 - a) 大学総務課で事前受付を済ませた際に受け取った、<受付>印のある「廃棄物処理依頼伝票」を1回の排出につき1セット(3枚つづり)作成する。
 - b) 大学総務課で事前受付を行った際に指定される搬出日時に、作成した「廃棄物処理依頼伝票」と廃棄したいものをセットにしてリサイクルステーションに持ち込む。

(2) 家電 4 品目(テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコン)

- ① 受付手順：事前受付制になるので、以下の手順で受付をする。
 - a) 廃棄したいものが備品になっている場合は、経理課で「備品の廃棄(除却)処分願い」を提出、決済をうける。
 - b) 家電リサイクル券の購入(メーカーとサイズを確認後、郵便局で用紙に記入、料金支払いを済ませる。)
 - c) 廃棄したいものをリストアップし、リサイクルステーションに排出したい日の前日の午前中(11:30)までに大学総務課で<受付>を済ませ、<受付>印をもらった「廃棄物処理依頼伝票」を受け取る。
- 検収対象の製品の場合は、調達課で検収を受けて、支払い処理を進めること。
- c) リサイクルステーションに搬出する日時の調整を行う。

②) 搬出手順：以下の手順で搬出をする。

- a) 大学総務課で事前受付を済ませた際に受け取った、〈受付〉印のある「廃棄物処理依頼伝票」を1回の排出につき1セット(3枚つづり)作成する。
- b) 家電リサイクル券が必要になるので、廃棄する製品のメーカー、大きさ(容量)を確認し、郵便局で用紙に必要事項を記入し、料金の支払を行う。
- c) 大学総務課の事前受付を行った際に指定される搬出日時に、作成した「廃棄物処理依頼伝票」、「家電リサイクル券」、廃棄したいものをセットにしてリサイクルステーションに持ち込む。

(3) 機密書類(個人情報等の機密書類、倉庫保管期限切文章)

① 受付手順：以下の手順で受付をする。

- a) 大学総務課で廃棄したいものを伝え、「廃棄物処理依頼伝票」を受け取る。

② 搬出手順：以下の手順で搬出をする。

- a) 管理課で1回の排出につき1セット(3枚つづり)作成する。
- b) 「廃棄物処理依頼伝票」と廃棄したいものをセットにしてリサイクルステーションに持ち込む。

(4) 特殊ゴミ(危険な物、カッター、ライター、乾電池・ボタン電池、割れた蛍光灯・電球、割れた陶器・ガラス)

① 受付：以下の手順で受付をする。

- a) 大学総務課で廃棄したいものを伝え、「廃棄物処理依頼伝票」を受け取る。

② 搬出方法：以下の手順で搬出をする。

- a) 1回の排出につき1セット(3枚つづり)作成する。
- b) 種類ごとに分別を行い、搬出時に怪我のないように運ぶ。
- c) 「廃棄物処理依頼伝票」と廃棄したいものをセットにしてリサイクルステーションに持ち込む。

※1 実験機器等

製品名、品番、シリアル番号、フロンガスの有無の情報を確認しおく。

断熱材、不燃材としてアスベストを使用している高温実験装置については、-リサイクルシステム実験廃棄物用-を参照して下さい。

※2 家電リサイクル法対象家電(家電4品目)

テレビ(ブラウン管・液晶・プラズマ式含)・冷蔵庫(冷凍庫含)・エアコン・洗濯機(衣類乾燥機含)

4. 一般ごみ保管場所の管理

排出された一般ごみの保管場所は、以下の通りにて管理する。

分別ボックス

- 種類 : 古紙、アルミ缶、スチール缶、BIN、ペットボトル、燃えるごみ、燃えないごみ、生ごみ、リサイクルトレー
- 分別基準 : ボックスの表示写真に従う。
詳しくは「農大リサイクルシステム-分別ボックス用-」参照。
- 回収の頻度 : 毎日1回清掃業者が回収し、リサイクルステーションへ持ち込む。
- 管理所管 : 大学総務課の責任において管理する。
- 管理基準 : 以下の項目を管理する。
 - (ア) 分別基準を満たした一般ごみを排出する。
 - (イ) 分別ボックスの表示を貼り付ける。
 - (ウ) 分別ボックスに入りきらない排出はしないようにする。
 - (エ) 周辺にごみが散乱しないよう清潔に保つ。

ごみ集積所

- 種類 : ステンレス製・メッシュ製…燃えるごみ、燃えないごみ、古紙、生ごみ、BIN、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル
- 分別基準 : 集積所の表示に従う。
詳しくは「農大リサイクルシステム-研究室・事務室・農友会等団体用-」参照。
- 回収の頻度 : 每日1回清掃業者が回収し、リサイクルステーションへ持ち込む。
- 管理所管 : 該当する建物の各所管の責任において管理する。(構内配置図TUA-03-446-01-02-04)
- 管理基準 : 以下の項目を管理する。
 - (ア) 分別基準を満たした一般ごみ排出をする。
 - (イ) (ア)によって排出された廃棄物は、指定された方法でまとめ排出する。
 - (ウ) 分別ボックスの表示を貼り付ける。(表示は大学総務課にて配布)
 - (エ) 分別ボックスの通りに排出をする。
 - (オ) ごみ集積所に入りきらない排出はしないようにする。
 - (カ) 周辺にごみが散乱しないよう清潔に保つ。

リサイクルステーション

- 種類 : 可燃物……燃えるごみ
不燃物……燃えないごみ
粗大ごみ…鉄屑、ガラス陶器屑、廃プラスチック
古紙
ビン
アルミ缶
スチール缶
ペットボトル
発泡スチロール
生ごみ
樹木屑
- 保管基準 : リサイクルステーションの表示に従う。
表示は、回収業者別に分け表示する。
- 回収の頻度 : 「廃棄物管理手順書」参照。
- 管理所管 : 大学総務課の責任において管理する。
- 管理基準 : 以下の項目を管理する。
 - (ア) 保管廃棄物別の表示を貼り付ける。
 - (イ) 保管廃棄物は表示通り床面に線を引き、その線を越えないように保管する。
 - (ウ) リサイクルステーションには扉等の囲いをする。
 - (エ) 産業廃棄物(鉄屑・ガラス陶器屑・廃プラスチック)保管場所には、廃棄物の種類、積み上げの高さ、保管場所の管理者の名称と連絡先を掲示した60cm×60cmの掲示板を設置する。
 - (オ) 保管の高さは壁を越えないようにする。(壁に立てかける場合は1.3m以下とする。)
 - (カ) リサイクルステーション内を清潔に保つ。(ねずみやはえが生息・発生しないようにする。)

5. 廃棄物保管場所の管理チェック(監視測定)

廃棄物保管場所の管理チェックについては、大学総務課にて各所管が管理する保管場所の管理基準を満たしているかどうかを、環境マニュアル「環境監視測定一覧」(Y-451-01)に基づいてチェックする。

大学総務課はチェックした結果を、ホームページにて公開する。また、チェック実施時に管理基準を満たしていない所管へは、改善実施通知書を通知する。

6. 保管廃棄物の処理

リサイクルステーション・特別管理産業廃棄物倉庫に保管場所された廃棄物を処理業者に受渡し処分されるまでの手順は、「廃棄物管理手順書」に定める。

世田谷キャンパス内 ごみ集積所管理所管一覧表

集積所名	管理所管
農大サイエンスポート	農芸化学科、醸造科学科、食品安全健康学科、栄養科学科、バイオサイエンス学科、分子生命化学科、分子微生物学科、森林総合科学科、生産環境工学科、造園科学科、地域創成科学科、国際農業開発学科、食料環境経済学科、国際バイオビジネス学科、国際食農科学科
農大アカデミアセンター	理事長室、学長室、企画広報室、内部監査室、総務課、人事課、財務企画課、財務会計課、施設課、キャリアセンター、情報教育センター、システム管理課、図書館、スポーツ振興室、大学総務課、学生課、グローバル連帯センター、入学センター、メール室
7号館	森林総合科学科、生産環境工学科
8号館	アイソープセンター
11号館	健康サポートセンター、電子顕微鏡室、教職・学術情報課程、菌株保存室
9号館	分子生命化学科
12号館	バイオサイエンス学科、食品加工技術センター
15号館	農生命科学研究所
16号館	ひよこ保育園、出版会
18号館	館内実験室(バイオサイエンス学科、生物応用化学科、醸造科学科、分子生命化学科、分子微生物学科、国際農業開発学科、食品安全健康学科、栄養科学科)
常磐松会館	学生課(農友会各部)

※配置図は、(構内配置図TUA-03-446-01-02-04)参照。